



あつぎ・森の里九条の会

2023年6月

～今を新たな戦前にさせない～

結成：2009年

代表：平川高人 電話：090-3338-7027 編集：事務局/今村考三 046-248-0632

例会

7月2日（日）

10：00～12：00

森の里公民館3F会議室

懇談会・ビデオ

9条改憲、原発、ウクライナ侵略戦争、物価高、地域の問題などについて話し合い、共感し合いませんか。

「9条改憲、原発、ウクライナ侵略戦争、物価高、地域の問題などについて話し合いませんか？」

6月4日（日）

今回は2本のビデオを見て核兵器禁止必要性や、署名活動の意味、原発政策転換の危険性などについて学び、話し合いました。

NHK「その時歴史は動いた」3000万の署名大国を揺るがす」（1999年放送）

1954年3月1日、第五福竜丸がアメリカのビキニ環礁での水爆実験で「死の灰」を浴びたことから署名活動が始まった。集まった署名は、第1回原水爆禁止世界大会までに国内で3000万、世界各国で合計6億。署名活動中の女性は、「こんな活動にどんな意味があるのか？」と問われ、答えた。「沈黙は賛成を意味する。何もしないよりいい。」

NHK「ETV特集」ヒロシマ爆心地の原子力平和利用博覧会」（2014年放送）

原子力平和利用博覧会は、原爆投下から11年後の1956年、広島市の原爆資料館で開かれた。そこには、原子力の平和利用資料を寄贈することによって、「ホラー展示物」を閉め出し、原子力に対する否定的見方を、前向きなものに変えていこうというアメリカのねらいがあった。開幕から3週間で11万人が訪れた。1年間の原爆資料館来館者数と同じだった。その後日本は、世界第3の原発大国になった。

▼原水爆禁止世界大会の1年後に原子力平和利用博覧会を開いた。アメリカはやり方が巧妙だ。

▼GHQはレッドパージを行い、帝銀事件や三鷹事件、松川事件で共産主義者のせいにした。

▼初めは原子力の平和利用に憧れを持っていった人も、3・11後は考えが変わった。

▼3・11を忘れて政府が原発政策を転換したが、大きな地震が来たらどうするのか。

▼もっとたくさんの人たちにこのビデオを見てほしかった。

▼日本人は自分さえよければ、と言う人が多い。

▼ドイツは戦後、ナチスドイツの戦争責任を徹底的に追及して

スタンディングと署名活動のお知らせ

日時：7月16日（日）10:00～11:00

場所：スーパー三和前

★どなたでもお気軽に参加大歓迎です。

★手作りの表示板の用意あります。

例)「キンダ政治を許さない！」

「9条壊すな！」

「NO WAR！」

「大軍拡・大増税反対！」

いる。日本とは全く違う。

▼広島でG7サミットが開かれたが、日本は民主主義国家とはいえない。後進国だ。

▼日本では事実上、裁判所は政府の追認機関、国会は議論なしの強行採決機関、内閣は憲法より上位の国権の最高機関のようになっている。しかしそれを許しているのは国民だ。

▼5月31日の北朝鮮の「偵察衛星」打ち上げでは、NHKが長時間Jアラートを出していた。改めてNHKは政府の広報機関だと思った。「NHKは公共放送です」は改め、「NHKは国営放送」とすべきだ。

▼NHKは政府のスポークスマンだ。

ありがとうございました

5月21日のスーパー三和前のスタンディングでは、久々に署名活動も行いました。「大軍拡NO！大増税NO！」の署名には、35名の方が協力してくださいました。どうもありがとうございました。

読者の広場



傍観は独裁政権への加担

恥を知らなければ

昔テレビで旧ソ連のSF映画、「惑星ソラリス」を見ました。宇宙ステーションから帰還した乗組員が、ソラリスの海の表面が変化し、街や赤ん坊の形になるのを見たと言います。調査のため心理学者がロケットで宇宙ステーションに向かったが、内部にはいるはずのない少女や、自殺したはずの妻が現れたり消えたりする。(フリー百科事典「ウィキペディア」より)

アンドレイ・タルコフスキー監督の難解な映画です。車の中から撮られた東京の首都高速の場面が長かったことや、主人公の心

理学者の次のような一言を今も覚えています。「人間、恥を知らなければ進歩しない。」

庶民は納得していない

岸田首相の長男翔太郎秘書官が、公邸忘年会問題で辞任しました。この問題は、週刊「文春」が「公邸でおおはしやぎ」と報じて明らかになりました。岸田首相は忘年会の場であいさつもしたそうです。また週間「ノロダク」は、参加者の中央で笑顔を見せる首相夫妻の写真を掲載しました。岸田首相一族のおごりを感じます。

岸田首相は、公邸の私的スペースだから問題ないと言いつつ、しかし公邸の一部で行われたことに変わりなく、庶民は納得していません。朝日新聞が5月27、28日に行なった世論調査では、翔太郎秘書官が親族と公邸で忘年会を開いたことについて、「大いに問題だ」と「ある程度問題だ」は、合わせると76%でした。

主要国とは言えない

公邸忘年会問題は海外メディアも速報し、日本では世襲が広く行われていると伝えていきます。政治だけでなく、経済も長年停滞、人権、教育など様々な面で主要国中下位。広島でG7サミツ

トが開かれましたが、とても主要国とは言えない恥ずかしい状態です。

やりたい放題

5月31日、北朝鮮が「偵察衛星」を打ち上げました。日本政府が強調していた「偵察衛星と称する弾道ミサイル」ではありませんでしたが、北朝鮮は年にも何度もミサイル発射を繰り返しています。国家予算に占める軍事費は、相応な割合を占めていると考えられます。国民の多くが生活に困窮しているにもかかわらず、平気で何度も発射。何とひどい国だ……。

次の世代に説明がつかない

しかし、です。日本も軍事費を今後5年間で43兆円へ。一方で貧富の差は拡大するばかり。新しい階級社会が生まれつつあります。事実上の独裁政権が続いています。やりたい放題の政治を終わらせない限り、庶民に明るい未来はありません。傍観は独裁政権への加担です。ここで声を上げなければ独裁政治は半永久化し、憲法が改悪されるでしょう。それでは次の世代に説明が付きません。

最後にドイツのメルケル首相の言葉を、もう一度掲載します。

「この国に自由が向こうからやって来たのではなく、私たちが勝ち取ったのです。その裏には、旧東ドイツで危険を冒してまでも自由と権利のために戦った人々がいました。だからこそ、私たちは民主主義を守らなくてはなりません。民主主義はいつもそこにあるものではないのです。ねたんだり悲観したりせず、希望をもって目的に向かえば、未来は必ず開かれます。」(森の里九条の会 1月号参照)

KI

※事務局では皆さんからの一言を募集しています。身近なエピソードやつぶやき、森の里のトピックスなど、何でもよいのでお寄せ下さい。先にお配りした葉書もご利用ください。



アジサイ 花菜ガーデン(平塚市)